

## 解答

問一 A オ B ウ C ハ D ア

問二 イ

問三

勉強には苦しい時間も楽しい時間もあるものなので、そのどちらかだけをとりあげることに意味はないから。勉強が楽しく感じられないということ自体が、勉強することによって乗り越えるべき、生まれ持ったものの差であると言えるから。

問五 勉強とは苦しいこと、うんざりすることばかりの中にまれに楽しい瞬間が訪れるものだ。それを楽しめる数少ない大人にとって、苦しみを引き受け効率の悪い喜びを求める若者は自分たちを引き継ぐ貴重な仲間だと認められるだろうから。

問六 a 一応 b 真 c 余談 d 予期 e 収支

問一 a わざ b むね c うで

問二 誠二の兄が卒業アルバムを視力の低い母に見せたとき、どれが兄かわからなかつたこと。

問三 視力に問題のない自分は写真を楽しめるのがあたり前だと思っていたが、視力の悪いお母さんを持つた星野君が抱えている思いに目を向けることができていなかつたことを思い知られ、罪悪感をおぼえている。

問四 星野君の心の内を想像し、星野君の視点に立つて物事を見てみようとしている。

問五 うまい写真といい機材を使い、すぐれた構図やライティングによつて作成される完成度の高い写真だが、いい写真とはその人そのものが伝わってくるような写真であり、それを見ながら過去や未来を語りたくなるような奥行きを持ったものである。

問六

星野君の事情を知つた上で、目の悪い母にも自分の写真を見てもらいたいという星野君の思いを写真に残し、星野君やお母さんに喜んでもらいたいという思い。